

## 令和5年度 明石市地域公共交通会議（第1回）議事概要

(日 時) 令和6年2月6日(火) 14時00分～  
(会 場) 明石市役所 議会棟2F 大会議室  
(出席者) 委 員：12名(欠席0名、代理2名)  
          オブザーバー：1名  
          随行者：2名  
          傍聴者：1名  
(その他) —

### 協議・報告事項

#### 協議事項：1件

【協議1】神姫バス 高丘(石ヶ谷墓園)～明石駅線、朝霧駅～明石駅線の路線休止について／2024年4月路線一部見直しについて… [資料1](#)

##### (概要)

神姫バス運行路線における2024年4月の一部路線休止や便数見直し等について協議を行った。

##### (意見・質問)

Q. 45系統は高丘地区の住民が行政施設や生活関連施設を利用するうえでメインの路線。これまでも少しずつ減便され、このたびの見直しでさらに不便になる。当該地域は市内でも特に高齢化が進んでおり、バス交通は地域にとってライフラインのようなもの。については、住民の生活利便を守るために神姫バスには努力してもらいたい。また、市においては福祉的な観点でも方策を検討してほしい。

➡ (神姫バス) 利用が少ない時間帯も多く、乗務員不足などを踏まえると、特に夜間を中心に見直しざるを得ないのが現状。

➡ (事務局) 本年4月の改善基準告示改正による乗務員不足や、コロナ禍以降の利用者数低迷など、昨今のバス業界を取り巻く厳しい環境が背景にある。そうした中、明石市総合交通計画では「みんなで持続可能なやさしい交通体系を守り・育てる」ことを基本理念とし、行政と事業者、そして利用者がそれぞれの役割で持続可能な交通体系に寄与することを目指している。本市としては、神姫バス・山陽バスと3者で取り組む「あかしバスに乗ろうプロジェクト」等を通じ、より多くの方にバスをご利用いただけるための利用促進施策に取り組みながら、路線の確保維持に努めていきたい。

Q. 神姫バスが路線を休止する地域ではたこバスを運行してはどうか。たこバスの方が運行経費も安く、また運賃を路線バス並みに引き上げて運行しても利用されるのではないか。

➡ (事務局) 市内交通ネットワークの考え方として、東西方向は鉄道が、南北方向は路線バスが、そして路線バスが運行していない地域と鉄道駅を循環路線で結ぶ移動はたこバスが、それぞれ役割分担しながら担うこととしている。このたび路線の見直しが行われる地域についても近接する既存のバス路線や停留所がある中、仮に当該地域にたこバスを導入した場合、既存路線の利用状況がさらに悪化し、さらなる減便や路線休止を招きかねず、地域にとってかえってバスサービス水準が低下する恐れがある。については、たこバスの運行拡大については慎重な議論が必要と考えている。まずは運行事業者と協力しながら利用促進施策等に取り組み、市内の交通ネットワーク全体として確保維持に努めていきたい。

- Q. 神姫バス大久保車庫に戻る回送のバス車両を、営業運行として有効活用できないか。
- ➔ (神姫バス) 車庫に戻る回送車両は、基本的に乗務員の休憩確保や勤務終了に伴うもの。連続運転時間や拘束時間に関する制限があるため難しい。

⇒協議内容について、異議なく承認

## 報告事項：3件

【報告1】山陽バス二見線 2024年4月ダイヤ改正について/今後のバス運行について … 資料2

### (概要)

山陽バス二見線(70系統)の2024年4月ダイヤ改正および今後の運行について報告された。

### (意見・質問)

- Q. 当該路線は、一般の方の利用ではなく、人工島内企業の就労者が通勤手当によりバスを利用するケースが大半。については企業方の協力、利用なくしてバス路線の経営は困難。じっくりと協議すべきでは。
- ➔ (山陽バス) ご意見のとおり、当該路線は企業からの通勤定期支給による利用に概ね特定されているため、運行エリアの中で運賃や負担方法などを協議できる路線であると考えている。引き続き検討していきたい。

【報告2】明石市コミュニティバス(たこバス)の運行について … 資料3

### (概要)

事務局より、たこバス運行の変遷や利用状況、一部バス停名の変更等について報告を行った。

### (意見・質問)

- Q. 高齢者優待(寿優待乗車証)の利用者数に増減があっても、たこバス運行補助額には影響はないということか。
- ➔ (事務局) 市福祉部局から運行事業者に支払われる優待制度の定額負担金がたこバス運行収入として計上される。よって、優待制度の利用者数の増減がたこバス運行収入や補助額に影響するわけではない。しかしながら、多くのご利用があることは非常に好ましい事であるため、今後も沢山の方にたこバスをご利用いただけるよう維持していきたい。合わせて、運行事業者とも連携しながら補助金の削減にも努めていきたい。

【報告3】あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの取組みについて … 資料4

### (概要)

事務局より、あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの令和5年度の取組みや明石市における近年のバス利用動向等について報告を行った。

### (意見・質問)

- Q. 松が丘小学校で行ったような出前講座は、他の学校でも実施する予定はあるか。
- ➔ (事務局) 他の学校での実施も含めて、次年度以降も継続して実施したく考えている。

Q. 神戸学院大学と連携した利用促進の取組みにおいて、学生の提案の中に市内観光地をバスで

巡る企画案も見受けられたが、地域活性化につながるような施策には私も賛成である。

➡（事務局）学生や大学事務局、教授らとも調整しながら、実現できる企画については前向きに検討していきたい。

以上